

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年十月度 入選句（投稿総数三千二十八句・小中学投句数二千三百四句）

特選

秋の空いわしとさばが大漁だ 大垣市 松永 心暖(小五)

秋の空は、どこまでもすみわたっています。はてしなく広がる大空を見ていると色々な想像がはたらきます。夏の間もくもくとしていた雲も見なくなり、いわし雲やさば雲を見かけるようになりました。上空一万メートルほどに発生する小さな雲です。空いつぱいの雲を大漁と表現したのが良かったですね。

のきしたでほしがきたちがあつたかそう 大垣市 四元 智穂(小三)

渋柿の皮をむいて、天日干しにすると渋が抜けてあまくなり、長い間保存もできます。おばあちゃんが毎年同じようにのき下に柿を吊るすのかな。太陽の日を受けてとてもあたたかそうにみえたですね。時々ほもみもみしたり、雨にあたらぬようにしたりおせわがたいへんです。あまくなつて家族みんなでおいしく食べる姿が目にかかびます。

青空の草原に群れる羊雲 大垣市 藤原 唯良(小五)

秋の空にはさまざまな雲が姿を現します。魚のうろこのように見えるうろこ雲や、もこもこの羊の毛のような羊雲などです。青空を大草原にみたて、そこに群れる羊たち。大変雄大な景になりましたね。群れから離れた自由な羊まで見えてくるようです。うろこ雲、さば雲、いわし雲と表現は色々ありますが、少しのちがいを発見し、きちんと判別した点がとても良かったです。しっかりと見ていることに感心しました。

秀逸

秋暑し「秋」の文字書く書道塾 加茂郡川辺町 村木 順哉(中二)

ふでばこにぼうしがとれたどんぐりさん 大垣市 まつふね めい(小一)

くつひもにくやしきのこるうんどうかい 大垣市 清水 杏吏(小二)

むしかごにせみのぬけがらつめてみる 大垣市 伊藤 晟冴(小一)

ゆうがたにあきのおひさまういている 大垣市 みしま かずき(小二)

あかとんぼあかじめをしてそらみてる 大垣市 伊藤 百花(小三)

ひるやすみまどをあけたらあきのかぜ 大垣市 大橋 心麦(小三)

どんぐりとまつぼっくりとせみのから 大垣市 竹下 刹那(小一)

入選

君の汗涙にかわる体育祭
 加茂郡川辺町 村田 羽耶乃(中二)

どんぐりを集めだしたらきりが無い
 加茂郡川辺町 飯田 美聡(中二)

澄んだ空ゆれるコスモス淡い恋
 加茂郡川辺町 黒岩 遥菜(中二)

秋の森はっぱでおめんたのしいな
 大垣市 北川 結菜(小二)

川いちめんぱつとひろがるひがん花
 大垣市 中川 絢稀(小四)

バステいを歩いてもどる秋の風
 大垣市 米津 祐人(小四)

くるみくんかたいかたいよいしでわる
 大垣市 やすだ ゆいと(小二)

わたり鳥川につかってひとやすみ
 大垣市 稲葉 愛友(小六)

どんぐりがちやいろくなつてひやけした
 大垣市 日比 椀鈴(小三)

少しずつ色あせていくひがん花
 大垣市 富岡 茜音(小五)

入選

秋空にゆつくりすすむいわし雲
 大垣市 勝嶋 大和(小五)

ちよつとずついつしよに歩くいわし雲
 大垣市 高橋 梨里(小五)

ぼくの勝ちさつまいものつな引きは
 大垣市 篠田 風樹(小五)

ペダルとめ空を見上げてうろこぐも
 大垣市 福本 芳大(小五)

風ふけば黄金のいねがおどりだす
 大垣市 四元 佳穂(小五)

風がふき庭が香りし金木犀
 大垣市 高橋 沙良(小五)

増税で令和の秋がにぎわしい
 大垣市 川瀬 陽菜乃(小五)

南東に月は毎日秋の空
 大垣市 おか田 そら(小三)

ひがんばながっこうへいくあかいみち
 大垣市 おかだ るい(小二)

のりたいなまいにちよんでるくじらぐも
 大垣市 伊藤 瑠威(小二)

選者吟

柿日和一円切手買いに出る

よちゑ